

2017年5月22日

公益社団法人日本語教育学会
会 員 各 位

〒101-0065
東京都千代田区西神田 2-4-1
東方学会新館 2F
公益社団法人日本語教育学会
会 長 石 井 恵 理 子

第5回（2017年度）定時代議員総会議決のお知らせ

2017年5月21日に早稲田大学早稲田キャンパス3号館304教室（東京都新宿区西早稲田1-6-1）において開催された標記総会は、新山忠和氏を議長として議案の審議を行い、下記のとおり議決・承認しましたので、個々に概要を通知申し上げます。

記

議事に先立ち、事務局長から、出席の代議員18名、書面表決書提出の代議員10名、合計28名（午前9時時点）であることが報告された。定款第17条の規定する定足数の要件を満たし、本総会は成立した。

次いで、議長選出が行われ、定款第16条に基づいて新山忠和代議員が議長に選出された。

議事日程案が承認され、議題順に審議及び報告が行われた。

議事の経過の概要及びその結果は以下のとおりである。

〔決議事項〕

第1号議案 2016(平成28)年度事業報告及び収支決算報告の承認の件

(1) 2016(平成28)年度事業報告

事務局長から、資料に基づき、2016年度事業活動の概要が報告され、審議の結果、書面表決書の賛否（賛成10、不賛成0、棄権2）を含めて賛成多数により、2016(平成28)年度事業報告は原案通り可決、承認された。

また、審議中に、次のような質疑応答があった。

■チャレンジ支援事業の実施結果を学会としてはどのように考えているか。

→大会でわかばの企画を実施し、多くの方にご参加いただいております。ただし、この企画参加者が学会に入会したかどうかは確認できていない。

■効果が会員に伝わると、協力しようという気持ちになると思うので、報告をご検討いただきたい。

→チャレンジ支援委員会にも伝え、しっかりと報告をするよう努める。

(2) 2016(平成28)年度収支決算書類

初めに会長から、2016年度収支決算の要点について説明があった。次に、事務局長より、資料に基づき、2016年度収支決算書類について説明が行われ、次いで西原監事から監事監査の報告があり、審議が行われた。その結果、書面表決書の賛否（賛成10、不賛成0、棄権2）を含めて賛成多数により、2016(平成28)年度収支決算書類は原案通り可決、承認された。

また、審議中に次のような質疑応答があった。

■予算書で約670万円の赤字だったが、約420万円の赤字となったのは、科研費の

830 万円が収入として入ったことによるものか。

→おおむねそういう理由である。

■科研費の 830 万円は委託費の 828 万円とほぼ相殺されているということか。

→830 万円のうち、約 600 万をウェブサイトシステムに充てている。その他、J-STAGE への学会誌掲載などにも使った。

■学会誌や予稿集が電子版になったことで、印刷費はほぼかからないと考えてよいか。

→印刷費は（書店販売分と寄贈分は印刷するがそれ以外は）、2017 年度からはほぼかからない。

■印刷費が減ったとしても、システムの運用費がかかること、会員が少しずつ減っていくことを考えると、今回のような 420 万円相当の赤字が計上され続けることを考えながら審議をするべきではないか。

→普通会员の微減は続いているが、今後会員へのサービス向上で会員増も見込まれる可能性はある。また、賛助会員については、4 月時点で 23 団体だったが、現在は 30 団体となっており、増えている。補助金なども今後獲得していく予定である。

第 2 号議案 新理事・監事の承認について

議長から、定款の規定により、現在の理事の任期は定時代議員総会の日をもって満了となること、理事選出手続規程に基づいて、理事会において取りまとめられた理事候補者・補欠候補者名簿を代議員総会に提出したこと、理事・監事の選任に際しては候補者ごとに選任の決議を行うことが定款その他の規程で定められていることが説明された。理事・監事選任の具体的な手続方法について、議長提案（別紙 1）が提示された。協議の結果、議長提案の選任手続方法が合意され、賛否投票を行うことに決まった。

理事候補者の選任投票の結果は、次のとおりであった。

(A) 地域ブロック選出（投票用紙記載順）

小河原 義朗	賛成多数により選任
宇佐美 洋	賛成多数により選任
岡本 能里子	賛成多数により選任
小野 正樹	賛成多数により選任
久保田 美子	賛成多数により選任
齋藤 ひろみ	賛成多数により選任
衣川 隆生	賛成多数により選任
金 孝卿	賛成多数により選任
浜田 麻里	賛成多数により選任
渡部 倫子	賛成多数により選任

(B) 専門分野・職域等選出（投票用紙記載順）

石井 恵理子	賛成多数により選任
奥田 純子	賛成多数により選任
金田 智子	賛成多数により選任
神吉 宇一	賛成多数により選任
川端 一博	賛成多数により選任
小林 ミナ	賛成多数により選任
小山 悟	賛成多数により選任
中野 佳代子	賛成多数により選任
深澤 のぞみ	賛成多数により選任
古川 嘉子	賛成多数により選任

理事補欠者については、投票の結果、次のとおり決定した。

江副 隆秀	関東ブロック補欠
西口 光一	北陸・中部・近畿ブロック補欠
札野 寛子	北陸・中部・近畿ブロック補欠
布尾 勝一郎	中国・四国・九州ブロック補欠
永田 良太	中国・四国・九州ブロック補欠
黒崎 誠	専門分野・職域等補欠

(C) 監事選出（投票用紙記載順）

関口 明子	賛成多数により選任
西原 鈴子	賛成多数により選任

以上の結果について、議長から理事選任・同補欠決定、監事選任の確認が行われた。

〔報告事項〕

事務局長から、次の各報告事項を一括して要点の報告があった。

- (1) 2017(平成 29)年度事業計画及び予算について
- (2) 『公益社団法人日本語教育学会の理念体系』について
- (3) 2016 年度各賞授賞について

事業計画について、次のような質疑応答があった。

■支部活動事業のご当地企画について具体的に教えていただきたい。

→ブースを用意して、新潟地区の高等教育機関の方や地域のボランティアの方に来ていただき、地域のネットワークの状況がうまく分かるような形で、それぞれの取り組みなどを紹介したり、参加者と交流ができるような企画を考えている。詳細が決まり次第広報をしたいと思っている。

■社会啓発事業の秋季大会特別プログラムについて具体的なことが決まっていれば教えていただきたい。

→秋季大会の特別プログラムでは、地域の方々を巻き込んで、その地域の課題を考えながら、この特別プログラムを実施することで、地域の活性化につなげられることを趣旨としている。今年度は、11月25日(土)午前、「「ひと・まち・しごと」創生を支えることばの教育―次世代を育てる日本語教育からの発信―」をテーマにパネルセッションを行う。所掌委員会は社会啓発委員会である。テーマは、社会的課題と、学会全体の方向性を鑑みて設定する。また、前述のご当地企画との連携もとりながら、企画を考えることも検討している。

■マイページで会費などの支払いを行うようになったが、セキュリティ対策に関して教えていただきたい。

→ウェブサイトは「しゅくみねっと株式会社」という会社に委託をしている。しゅくみねっとは、ISO27001 という情報セキュリティマネジメントシステムを取得している会社であり、この点については問題がないと判断している。また、しゅくみねっとでは、約 100 万人のユーザーを会員管理システムで管理しているという実績があり、個人情報流出などの事故も起きていないとのことで、信頼をして委託している。

(4) 賛助会員の集いについて

嶋田副会長より、4月28日に開催された「賛助会員の集い」について報告があった。これまで賛助会員との交流がなかったことから、まずはこれまでのご支援に対する感謝をお伝えするとともに、今後のネットワーク作りを目的とし、賛助会員以外にも日本語学校、出版社に声をかけ、交流会を開いた。結果として、新規に賛助会員になってくださる団体があった。これをきっかけに、今後につなげていけるとよいと考えている。

(5) 代議員からの意見・提案について

次の2点について代議員の意見・提案を求めたところ、以下のような意見があった。

① 会員数の維持、増加について

● 会員のサービスとして、夏季セミナーのようなものや、テーマごとに全10回ぐらいの短期講習のような研修をやってはどうか。料金は会員であれば割引がきくようにし、さらに学生や非常勤講師などはもっと安く受講できるようにし、会員であることのメリットを経済的に見える形にするとよいと思う。

● 北海道は技能実習生が急増しており、日本語学校が増えている。賛助会員になっていただけるよう、できるだけ声をかけるようにしたい。また、周りの大学院生からは、会費の1万円が高いという声がある。会費をなんとか安くすることはできないか。

● 学生や非常勤の方の会費を下げる、あるいは大会参加費を無料にし、その代わりに研究費などが使える専任職の方の会費を上げてはどうか。

● 支部活動や大会で、地域の日本語教育関係者を呼んで企画をすることがあるが、来てくださった方に何を還元しているのかが気になる。

● 地域日本語教育は、まだ定義づけもできないような状態でありながら、低収入であろうが立場が不安定であろうが、それを専門的にやっていこうという方々で成り立っており、最近では地方自治体や国際交流団体などの中で徐々にポジションが確立されつつある。そういった方々が参加したくなる企画を実施することで、会員獲得にもつながり、地域日本語教育ともしっかり結びついていくと思う。

● いろいろなことを実施しているが、成果報告をしっかりとしてほしい。

● 実践者、地域日本語関係者を含め、会員を増やしたいと考えるなら、会費のタイプを、研究費から出せるような専任の人、学生に加え、学生よりは高いけれど専任よりは安いという中間の会費という枠も考えてはどうか。

● 若い学生が入ってこない理由に、博士課程修了後のポストがないことが挙げられる。例えば、定年退職などでポストが空いた時に、後任を募集するかしないかも含め、学会に情報が入り、公募情報を学会から出せるような仕組みが作れないか。

② システム変更に伴い、不便な点や便利になったと感じる点について

● 予稿集などをダウンロードする際の手順が分かりにくいので改善してほしい。

● 周囲の方から、なかなかログインできなかったという声を聞いた。もうすこし簡単にログインできるようにしてほしい。

● 予稿集はスクロールしなければ見たいページに行けないが、目次をクリックすればそのページに飛べるなどの良さがなければもったいないと思う。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午前11時に閉会した。

別紙 1

定時代議員総会における理事・監事選任の手続について

1. 出席代議員は、「理事の改選に関する投票書式」に各候補者についての賛否を記入し、投票する。
2. 投票後、開票立会人の立会のもとに開票する。
3. 議長は、候補者名簿の順に、一人ずつ、書面表決書票と会場投票の集計結果を読み上げる。この結果に異議のないことを確認の上、選任を決定する。
4. 不賛成票が賛成票を上回るケースについては、当該候補者が信任されなかったものと判定して、補欠者の繰り上げを諮る。

以上